

泉佐野発

日本一の「ひとづくり」のまち

まちのスケッチブック 12月
vol.38 定例議会号

泉佐野市議会議員

千代松 大耕 (32歳)

ちよまつ ひろやす



変わらない挑戦。
進化する改革。

12月定例議会

昨年開催されました12月定例議会に上程された議案の主なものは、指定管理者に関する条例と保育所民営化に関する条例でした。

指定管理者とは、地方自治体の公共施設の管理運営を民間に任ずるものであります。以前までは公共施設の管理に際しては、その委託先として地方自治法の規定により、地方自治体が出資する法人や公共団体、公共的団体に限定されておりました。しかし指定管理者制度の実施によって民間事業者やNPO法人など幅広い団体に管理運営を任ずることができるようになりました。管理運営を任ずる民間の力によってより効果的・効率的に利用できるようにすれば市民の方々の利便性も高まります。

今回の議会では、市立文化会館(泉の森ホール)・社会福祉センター・老人福祉施設4館・かんがい排水施設の指定管理者の指定が行なわれました。これらの施設は以前から管理委託をしていたもので、平成15年9月の地方自治法改正によって管理委託をしていた施設に関しては指定管理者制度に移行するようになりま

この指定管理者制度による民間のノウハウの公共施設への導入によって住民ニーズの効果的な運営の実現が高まると考えます。

今後さらさらあらゆる施設、特に「ひとづくり」の拠点である社会教育施設における指定管理者制度の検討、そして実施が必要になってくると思います。

また保育所民営化に関する議案では、下瓦屋保育所の民営化に伴う案件が2本と補正予算が出されており、これらが可決したことにより、下瓦屋保育所の民営化が正式に決定いたしました。

現在の泉佐野市の考え方としては、中学校区に一つの公立保育所を残し、それ以外の公立保育所は全て民営化していくという方針であります。

泉佐野市における年間の保育所関係の予算総額(平成17年度)は、28億6,551万円であり、その内、公立保育所の人件費は13億6,087万円で実に全体の47%を占めています。

す。一方で公立保育所の運営や施設への予算は1億7,751万円で全体の6%しかありません。どれだけ公立保育所の経費が硬直しているかが、この数値でよくわかります。

また(表1)は平成15年度における大阪府下20市町村の保育所における一人当たりの児童にどれだけの費用がかかっているかの表であります。

公立保育所と民間保育所でなぜこれだけの差がでるのかという一番の理由は、やはり人件費によるものであります。

次の3月議会では、来年度に民営化される新たな保育所が発表されるとのことです。私は全て「公」がだめで「民」が良いと思っています。わけではありませんが、現在も公立保育所は地域にとつて子育ての中心的な役割を担っています。しかしもちろんな民間の保育園も同じような機能を十分に有しています。

「民間でできることは民間に移していく」、その最たるものが保育所運営ではないでしょうか?そして民営化によって新たな財源が確保されるなら、またそこから時代に合った新しい保育所サービスが生まれていくと私は思います。

活動報告

小学校視察③

昨年、私が委員長を務めている厚生文教委員会で行なった小学校視察の報告をさせていただきます。前回同様「地域との連携」についての報告をさせていただきますが、今回は「図書室の有効利用」というテーマで報告をさせていただきます。

平成16年度におきまして、4校の小学校の図書室にクーラーが設置されました。また平成17年度では残りの9校全ての図書室にクーラーの

図書室の有効利用

設置が実現できました。もともとクーラー設置の目的は、夏休みにおける児童の居場所づくりのための有効利用を考えたものでした。

このことにより夏休みに図書室を利用する児童がどの小学校でも増えているとの報告を受けました。またある小学校では、地域に住んでいる外国人の方を講師にお招きして英会話教室を夏休みに行なっているというところでした。

(表1) 大阪府下20市町村の保育所の状況(平成15年度)

	公立保育所		民間保育所	
	経費	公費(税金)	経費	公費(税金)
0歳児	524万円	477万円	262万円	217万円
1・2歳児	309万円	281万円	154万円	128万円
3歳児	148万円	135万円	74万円	61万円
4・5歳児	127万円	115万円	63万円	53万円

「かけはし」今後の予定

第13回「かけはし」	2月23日(木)
第14回「かけはし」	3月23日(木)
第15回「かけはし」	4月27日(木)

場所

泉の森ホール
2F 小会議室

時間

19:30~20:30

参加費 無料

千代松大耕が市民のみなさと市政をつなぐ架け橋となるため、市政懇話会「かけはし」を月に一回開催しています。どなたの参加もOKです。お待ちしております!

千代松大耕のプロフィール

1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
1986.3 泉佐野市立第一小学校卒業
1989.3 泉佐野市立佐野中学校卒業
1992.3 同志社香里高等学校卒業
1996.3 同志社大学経済学部卒業
1998.7 Lincoln University MBA Program 修了
2003.3 大阪府立大学大学院修了
2005.3 和歌山大学大学院修了

1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
2000.2 泉佐野市議会議員初当選
2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選

(議会)

2003.3 予算特別委員長
2003.5 市町村合併検討委員長
2004.5 第61代副議長
2005.5 厚生文教委員長

(現在)

(社)泉佐野青年会議所 監事
(NPO)大阪夢づくり協議会 理事
泉佐野市バレーボール連盟 会長
泉佐野市柔道連盟 理事
佐野中校区青少年指導員会 幹事長
泉佐野市交通安全指導員
泉佐野市私立幼稚園連合会 顧問
泉佐野青空市場活魚協同組合 顧問
同志社大学体育会アメフト部OB会 常任理事
看護を考える市町村議員の会 副幹事長
自由民主党泉佐野支部 政務調査会長

連絡先 泉佐野市松原2-5-31

TEL 58-1708

FAX 69-0311

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

メール chiyoma51@hotmail.com

発行部数累計 459,500部 2006.2第38号

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。



のような取組をすることで英会話教室の期間中は90名の図書室の利用があったとのことあります。

私は以前から泉佐野市では、国際空港の直近のまちであり橋を渡れば「世界が広がっている」という利点を活かして、世界に通用する人材を育成していくための教育を行なっていくべきだと考えていました。だからこのような取組が図書室の有効利用によって行なわれていると聞いたときは、他の学校にも普及させていくべきだと思います。

また中学校の視察を行なったときにも感じたことですが、中学校の図書室は小学校と比べても蔵書数が多く、また図書館司書によっても整理された図書室はとも広々とした居心地の良い空間でありました。今後は中学校の図書室にもクローラーを設置するべきであります。クローラーが設置されたら夏休みにおける生徒の自習や図書室を地域に開放することができ、さらに「開かれた学校づくり」にも効果を及ぼすと考えます。

夢をかたち(5)

■「未成年者の喫煙」

駅前やコンビニの前などで喫煙をしている未成年者は少なくありません。未成年がタバコを吸うのは法律違反です。未成年者喫煙防止法にてその旨が規定されています。それにも関わらずタバコを吸っている未成年者を注意できない大人があまりにも多いと思います。

「今の若者は切れやすいから」といしかし現在の日本のルールにおいては、未成年者がタバコを吸うことは違法であります。違法状態が目の前にも関わらず、その子供を注意しないことは大人として非常にまずいことであると思います。

私はタバコを吸っている子供は注意するようにしています。時に学生服でタバコを吸っているような子供を見かけたら追いかけて注意することもあります。そう思ったときに思うのですが、今の子供たちは見知らぬ人に注意を受けることなどない、大人たちに怒られることなど少ないので、私が注意をしたときは素直に聞き入れることが多いです。

「今どきタバコくらいで」といわれる方もいらっしゃるかもしれませんが、「注意をする」大人の姿勢が青少年健全育成のために必要とされているものではないでしょうか?

千代松大耕メールマガジン

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています!

市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。(週に3~4回は、発行しています)

メルマガの登録は、千代松大耕のホームページ、又は下記のアドレスから!

ホームページアドレス: <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

登録ページアドレス: <http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

※検索サイトで「千代松大耕」と検索していただければ、私のホームページにヒットします。また、携帯電話からは登録できません。